

救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院

独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター

07 KUMAMOTO MEDICAL CENTER

“ 救急車台数が多く、
すべての診療科がそろそろ。
豊富な症例を経験できる場所 ”

Interview

研修医 榎木 愛里
AIRI ENOKI

年数 / 臨床研修医2年目

出身大学 / 熊本大学

出身地 / 宮崎県宮崎市

初期研修は大学の人が生かせる熊本で、救急対応をしっかり経験できる場所を求めて、いくつかの病院を見学しました。中でも、研修医の先生達が楽しそうに働いている様子に惹かれて希望したのが「熊本医療センター」です。

当院は救急車受け入れ台数も多く、メジャーなものから症例報告になるようなものまで幅広く数多くの症例を経験できます。かといって忙しすぎず、きちんとお昼ご飯は食べられます(笑)。中心静脈のルート取りや挿管、救急外来での簡単な縫合、虫垂炎の手術まで、手技も多く任せてもらえるのもありがたいです。毎週のモーニングセミナーで様々な診療科の講習を受けられるので、研修で回らない診療科についても一通り学ぶ事ができます。当院は全部の診療科がそろそろので、「全てを学べる」ことは非常に貴重な機会だと思います。

同期が20名と多いのですが、学校のクラスのような一体感で仲が良いです。街に近いので集まって飲みに行く機会も多く、互いに支え合っています。当院は医局がワンフロアに集まっているので指導して下さる先生とも話やすく、病態の評価をディスカッションしやすいのも魅力。年に1~2回、北米型研修で海外から教授を招き、英語で発表を行ったり食事に同行したりするので、英語への抵抗もなくなりました。そして、2年目の選択期間が長く、希望に応じてかなり融通を利かせてくれます。救急での対応力を鍛えたい人、意欲的に様々な症例に挑戦したい人にとって、とても恵まれた環境ですよ！



救急疾患から悪性疾患まで 豊富な症例を経験

当院は、救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であるため、救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。日本有数の救急車搬入実績(年間約9,400台)を持つ救命救急センターでプライマリ・ケアが必要な救急患者を数多く研修し救急医療の基本的な診療を実践します。縫合、CVカテーテル挿入など侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーション・モデルを用いたスキル・トレーニングを行います。



2017年度病院実績



●指導医からのコメント



国立病院機構 熊本医療センター
脳神経外科 医長
中川 隆志
Takashi Nakagawa

当院は各科に臨床研修指導医が在籍し、充実した指導体制を整えています。「モーニングセミナー」をはじめ多数の研究会や講演、「北米型レジデント研修」での英語での症例発表など、アカデミック面の学習も充実。必修科以外は研修医の希望に柔軟に対応します。モチベーションが高い研修医を待っています！

独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次: 診療科目/内科(糖尿病・内分泌内科)〈例〉

曜日	月	火	水	木	金
午前	論文勉強会 病棟研修	甲状腺エコー 病棟研修	病棟研修	甲状腺エコー 病棟研修	病棟研修
午後	病棟研修 症例検討会	NST回診 病棟研修	糖尿病教室実習 病棟研修	転倒転落回診・病棟研修 担当症例カンファレンス	病棟回診 病棟研修

■初期臨床研修 年間スケジュール

総合臨床研修プログラム

1年次	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	外科	→	内科	→	麻酔科	→	内科	→	救急	→	
場所	熊本医療センター												

2年次	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	地域医療	選択										
場所	熊本医療センター	多数	熊本医療センター										

プライマリケア臨床研修プログラム

1年次	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	外科	→	内科	→	麻酔科	→	内科	→	救急	→	
場所	熊本医療センター												

2年次	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	産婦人科	総合診療科	→	小児科	精神科	地域医療	→	選択	→			
場所	協力病院												

後期研修

当院は新しい専門医制度に対応し、4領域の専門研修プログラムを提供します。
●基幹プログラム(当院で専攻医を募集するプログラム)/内科、麻酔科、救急科、総合診療

日本有数の症例数や救急搬送数に加え、世界の医療従事者との交流機会も豊富

- ①当院は救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であるため、救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。
 - ②日本有数の救急車搬入実績を持つ救命救急センターにおいて救急医療の基本的な診療を実践できます。年間約9,400台の救急車を受け入れており、プライマリ・ケアが必要な救急患者を数多く研修することができます。
 - ③医療技術の習得のための講習会を実施します。縫合、CVカテーテル挿入などの侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーション・モデルを用いたスキル・トレーニング等を行います。
 - ④北米型レジデント研修方法を習得するために北米からレジデント教育の指導者を招聘し、ケースカンファレンスなどのトレーニングを行います。EBMセミナーにおいて臨床研究を実際の医療に役立てる方法を習得します。
 - ⑤地域密着型の地域医療研修を実践します。当院は開放型病院であり、また地域医療支援病院でもあるため地域の医療機関との連携協力も密で、全国でも有数の開放型病院登録医数を誇っています。従って、地域の中核病院、診療所においてプライマリ・ケアの研修を行います。
 - ⑥充実した卒後研修システムを活用します。地域医療研修センターでは、年間2,600回にも及ぶ研修会を開催しており、これらの研修に参加します。また教育的CPCでは、研修医が中心となって徹底した症例分析を行います。
- プライマリケア臨床研修プログラムの目的と特徴
総合臨床研修プログラムの特徴に加え、本プログラムでは熊本県内における地域の中核病院において約1年の研修を協力型として行います。



病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ



DOCTOR	医師数 常勤 102名 非常勤 36名	INTERN	研修医数(前期) 1年次 18名 2年次 17名	ADVISOR	指導医数 54名	SICKBED	病床数 550床
--------	---------------------------	--------	--------------------------------	---------	-------------	---------	-------------

標榜科

総合診療科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、救急科、病理診断科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

専門医

アレルギー1人、胃腸科1人、肝臓4人、がん薬物療法4人、気管食道科2人、救急科10人、形成外科2人、外科8人、血液8人、血管インターベンション治療1人、高気圧酸素治療2人、口腔外科1人、呼吸器2人、細胞診2人、産婦人科4人、耳鼻咽喉科1人、集中治療2人、循環器5人、消化器7人、消化器外科3人、消化器内視鏡5人、小児科3人、脳神経内科3人、腎臓3人、心臓血管外科1人、頭痛1人、整形外科7人、精神科1人、創傷外科1人、透析4人、糖尿病4人、動脈硬化2人、内科15人、熱傷2人、脳神経外科2人、脳卒中2人、泌尿器科5人、皮膚科3人、病理1人、婦人科腫瘍2人、ペインクリニック1人、放射線診断5人、放射線治療1人、麻酔科4人、リウマチ3人、臨床検査1人

認定医

整形外科1人、内科26人、外科6人、肝臓1人、救急1人、血液1人、消化器病1人、腎臓1人、消化器外科4人、脳神経外科1人、リハビリテーション1人、がん治療9人、PET核医学1人、検診マンモグラフィ読影1人、心血管インターベンション2人、胸部外科1人、乳癌1人、抗菌化学療法1人、歯科麻酔1人(医学会等、名称省略)



研修医募集要項

応募資格 2020年3月医師免許取得見込みの方、又は2004年度以降医師免許取得者で卒業臨床研修を未実施の方

応募締切 2019年8月1日(木)必着

試験日程 第1回 2019年8月8日(木)
第2回 2019年8月15日(木)

試験内容 作文、面接

給料 1年次 月額/340,000円
2年次 月額/360,000円

諸手当 通勤手当、特殊勤務手当
(放射線取扱手当、夜間看護等手当、ヘリコプター搭乗救急医療手当、特殊業務手当、超過勤務手当、休日給、夜勤手当、時間外手術等従事手当)
※支給される給与については、基本給、通勤手当及び特殊業務手当は固定給、それ以外の諸手当は実績給となります。

年次有給休暇 有

宿舎 有

加入する保険等 全国保険協会保険、厚生年金に加入。労働災害保証適用有

医師賠償責任保険 病院加入無し。個人加入任意(個人負担)

当直の回数 約3回/月

所在地 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
担当部署 国立病院機構熊本医療センター/管理課給与係長
TEL 096-353-6501(代)
FAX 096-325-2519
E-mail 613jyoi@hosp.go.jp
URL kumamoto.hosp.go.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
kumamoto.hosp.go.jp/
rinken-index/rinken-recruitment

